

## ボランティアが見たエルサルバドル

2012年6月から2014年6月までの2年間、エルサルバドル国立大学（以下UES）でJICAのシニアボランティアとして日本語教育に携わった。実は赴任する前、エルサルバドルは治安が良くないと聞いていたので心配していた。出発前に友人からサルバドルは救世主という意味だから大丈夫だと言われ、2年間幸い何事もなかった。

UESは唯一の国立大学で創立約180年の古い総合大学である。赴任当時は言語学科の単位制クラス30名と公開講座80名ほどの学生が日本語を学んでいた。担当していなかったが大学の付属語学学校もあり多くの日本語学習者がいた。学生たちは質素で素朴な感じだった。

UESでは単位制の学生は選択科目で単位をもらうので熱心なのは当然としても公開講座の学生は単位はもらえない。それでも非常に関心が高かった。受講のきっかけは日本語そのものに興味を持っていた学生もいたが、アニメや漫画好きが高じて勉強を始めた人が多かった。当時エルサルバドルには日本企業も少なく、日本語ができることが利益に繋がらなかった。しかし日本語が好きで、上手になりたい、いつか日本へ行ってみたいという希望を持って熱心に学習していた。また毎日のように顔を合わせた同じ研究室の言語学科、隣の哲学科の先生たちに声をかけてもらったり、一緒に昼ご飯を食べたりした。語学の先生たちとは教授法の交換など貴重な経験ができた。毎日大学の車で送り迎えしてくれた運転手もスペイン語の話し相手になったり、エルサルバドル情報をいろいろ教えてくれたりした。



明るく温かい現地日本語教師、学生たちとの交流により活動が楽しいものになった。日本語のクラスの他にも教師と学生と一緒に日本文化祭を実施し、日本語を学習している学生のみな

らず他の学生、一般の人々、子供たちも参加してくれた。また日本語スピーチコンテストも学習者の励みになった。現地日本語教師たちの活躍は目覚ましい。2014年にはエルサルバドルで第5回、2018年には第9回中米日本語教育セミナーを主催した。世界中で実施されている日本語能力試験（日本語を母語としない人の日本語能力を測る試験、以下JLPT）中米ではメキシコだけだったが続いてコスタリカで実施、その後2018年からはエルサルバドルでも実施した。セミナーもJLPTも実施するためには大変な労力・時間が必要である。特にエルサルバドルのように教師が少ない国では大変である。経験を積んできた教師たちの活躍が



頼もしい。元学生たちの多くがアシスタント、教師になっていることも嬉しい。次に赴任したコスタリカで行ったセミナー、JLPTで懐かしいエルサルバドルの教師や学生たちに再会できたことも嬉しい出来事だった。また毎年のように教師たちが国際交流基金で行っていた教師のための研修

会に参加し、日本語のみならず、教授法、文化も学んでいる。また日本語学習者たちも様々な分野で日本留学を果たしている。一度や二度の挑戦でかなわず、三度めの挑戦で夢をかなえた元学生もいる。

人々との交流によりエルサルバドルは「大好きな国」になったが、他にも好きになった理由がある。食べ物や場所である。おいしい物はいろいろあるが、ププサは安くてどこにでも売っていて種類もいろいろある。作っているのを見るのも楽しい。野菜たっぷりのスープと一緒に食べるのもいい。海辺でエビやロブスター、魚の入ったスープにライムをぎゅっと絞って飲む、



食べるのも最高だ。また初めて見た木に生っているマラニョン（カシューナッツ）も面白かった。それを煎って食べるのはなかなか大変だ。火加減が難しいし、熱々の皮をむくのも大変だがおいしい。

食べ物の他にもまだまだ魅力がいっぱいのエルサルバドルである。国が小さいので日帰りでもそしてバスでも自然と人々に出会える旅を楽しむことができる。特に好きだったのは語学研修で滞在したスチット、湖一周のマラソン大会が行われる美しいコアテペケ湖、古代遺跡のチャルチュアパ、気持ちのいい温泉などである。



このように魅力いっぱい国であるがなんといっても一番は人々である。2年間で私はエルサルバドルのほんの一部を体験したに過ぎない。帰任1年後に赴任したコスタリカからエルサルバドルを訪問したかったが、治安悪化のためあきらめざるを得なかった。いつか再訪したい。今後も日本語教師が活躍してますます日本語教育が盛んになり日本語、日本文化に関心を持ってくれる人が増えることを願っている。日本語教師たちの努力により最近「エルサルバドル日本文化センター」が設立されたとのことである。もっと日本語のクラスやイベントなど行えるようになる。これからも活動を見守って行きたい。そして人々が安全に、幸せに暮らしていただけることを願っている。

西浦久子（にしうら ひさこ）氏

2012年～2014年シニアボランティアとしてエルサルバドル国立大学にて日本語教育に従事。その後2016年～2018年コスタリカ国立ナショナル大学にて日本語教育に従事。活動終了後は千葉県にて外国人留学生に日本語を教えている。